

マテリアリティ 5

事業ドメインの拡大

重要課題のマネジメント	
重要課題への設定理由	社会のヘルスケア課題を解決し、人々がより健やかに生活できる社会を実現するため、新薬事業にとどまらず新たな事業ドメインの拡大を進めています。当社が医薬品創製の歴史の中で培った知見や強みを活かしたユニークな事業展開ができると考えています。
中長期の目指す姿	デジタルや当社の強みを活用し、社会課題の解決、次世代ヘルスケアの実現に貢献する。
指標	●新規事業の開始数 ●新たな製品／サービスの提供数
主な取り組み	●顧客の未解決課題（ニーズ）を起点とした、デジタルを活用した新規事業の創生・推進 ●ヘルスケア分野の社会課題解決のためのエビデンスに基づいた商品やサービスの開発・製品化（小野薬品ヘルスケア株式会社） ●ヘルスケア課題の解決を目指す事業に取り組むベンチャー企業への投資、事業創成（小野デジタルヘルス投資合同会社）

持続的な成長に向けて

製薬業界の経営環境は、新薬創製の成功率が低下傾向にあることや、社会保障費の抑制を目的とした薬価の引き下げなど厳しさが増しています。当社は今後も持続的な成長を実現するために、革新的新薬の創製にとどまらず、新規事業の展開や、ベンチャー企業への成長投資といった事業ドメインの拡大にも注力していきます。収益基盤を強固なものにすると同時に、社会にとってさらに役立つ企業になることを目指します。

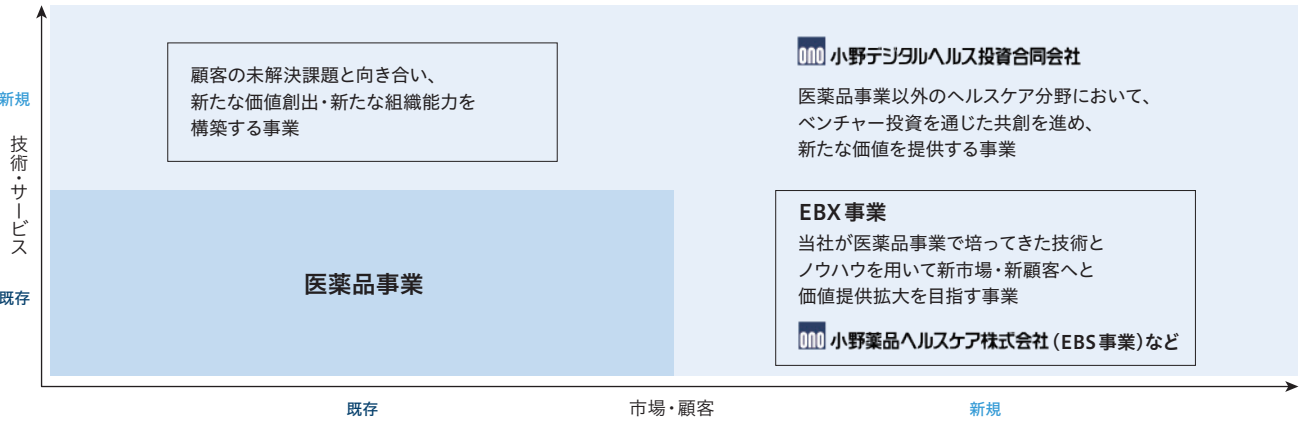
新規事業の展開においては、当社ならではの独自性や優位性が活かせるか、社会に有用か、などをポイントにしています。ヘルスケア領域に対するニーズは拡大しており、医薬品事業で培ってきた研究成果やノウハウといった資産を起点に、エビデンス（根拠、裏付け）の確かな事業の探索を進めています。

新規事業の実現にあたっては、当社に根付いたオープンイノベーションの活用は欠かせません。特に、デジタル分野や新たなサービス関連領域など、当社にない技術やアイデアを持つベンチャー企業に対する成長投資や提携を積極的に行います。今後、医薬品事業に比肩するようなビジネスの柱に育て、人々の健康や、次世代のヘルスケア領域でのイノベーションにつなげていきます。

価値の提供範囲を拡大

新規事業の対象範囲は、医薬品による治療に関する領域にとどまらず、疾病の予防や治療後に貢献できる事業も包含しています。これにより、医薬品を創製して、患者さんのお手元に届いて価値を発揮するまでの期間だけでなく、さらに長期間にわたってQOL

新規事業の探索



(生活の質)の向上に貢献したいと考えています。

当社が持つ資産をより有効に活用し、新規事業の創出による事業ポートフォリオの多角化を進めることによって、人々の健康や生活に貢献できる範囲を拡大していきます。また、医薬品事業以外にも、経営の安定に資する事業に育てることを見据えています。

主な取り組み

EBX (Evidence based X) 事業の推進

高齢化の進行や健康寿命の延伸など、ヘルスケア分野の社会課題に対応するために、当社は医薬品の研究開発などで得たさまざまな知見を有効活用し、臨床試験の結果など確かなエビデンス（根拠）に基づいた（＝Evidence based）商品やサービス（＝X）の開発・製品化を進めるEBX事業を推進しています。

2022年3月には、EBS (Evidence based Supplement) 事業の第一弾商品として、全額出資子会社の小野薬品ヘルスケア株式会社から、機能性脂質を素材とした機能性表示食品の睡眠サプリメント「REMWEELL（レムウェル）」を発売しました。EBS事業では「脂質の力で、あなたの健康によりそう」をミッションに、現代人に不足しがちな良質な脂質をとることで、健康に資するサプリメントブランド「Lipid-supply（リピドサブリ）」を立ち上げました。今後も研究の知見を活かしたサプリメント開発を進める方針です。

Web 小野薬品ヘルスケア株式会社
<https://www.ono-hc.co.jp/>

ヘルスケア分野のベンチャー投資を加速

当社は2022年3月、医薬品以外のヘルスケア事業を対象としたベンチャー投資を加速するため、コーポレートベンチャーキャピタル（CVC）である小野デジタルヘルス投資合同会社を新設しました※。

ヘルスケア課題の解決に取り組むベンチャー企業を投資対象としています。

2022年3月時点の投資実績は、株式会社Xenoma（スマートアパレル技術を用いたヘルスケアサービスの提供）、株式会社Rehab for JAPAN（介護事業所向けリハビリ支援SaaSの開発・提供）、株式会社ビーエムジー（医療用バイオマテリアル製品）です。今後、投資先との協業などを通じて、当社の事業ドメイン拡大や起業家支援に取り組み、健康寿命の延伸と持続可能な社会の実現を目指します。

※ 創業関連のバイオベンチャー企業などへの投資は、2020年に米国で設立したCVCであるOno Venture Investment, Inc.が取り組んでいます。

Web 小野デジタルヘルス投資合同会社
<https://www.onodigitalhealth.com/ja>

顧客の未解決課題に向き合う事業開発

新規事業の開発では、患者さんやそのご家族、社会を取り巻くさまざまなヘルスケアの課題に目を向けていきます。例えば、苦痛の軽減は大きなテーマです。がん患者さんの苦痛は身体的なもののみならず、精神的な苦痛や、仕事などへの社会的な苦痛、人生の意味などに悩むスピリチュアルな苦痛があります。医薬品では及ばないさまざまな苦痛の軽減に、デジタルや外部リソースを活用するほか、キャリア採用を進めることで実現を目指します。

2022年1月には大阪府のシニア層の抱える課題をICT（情報通信技術）の活用により解決することを目的とした「大阪スマートシニアライフ実証事業推進協議会」に、ベンチャー企業のケイスリー株式会社との共同体として参画しました。ケイスリーが提供する公的通知個別化サービスを活用してがん検診などの受診を促すとともに、受診後の各民間サービスへの連携を図る取り組みです。がん患者さんに対してデジタルプロダクトを通じた価値提供にも取り組み、健康の保持・増進への貢献を目指します。

TOPICS EBS事業 ～睡眠サプリメント「REMWEELL（レムウェル）」の発売～

「REMWEELL（レムウェル）」は、DHA、EPA、DAGE（ジアシルグリセリルエーテル）を含み、睡眠の質を向上させることが確認された日本初※の睡眠サプリメントです。50年以上にわたる脂質研究から多くのプロスタグランジン製剤を創製してきた当社と、水産物由来の機能性素材の研究開発に優れたマルハニチロ株式会社が共同開発しました。開発において実施した臨床試験にて、深睡眠とレム睡眠の割合が有意に増加すること、ネガティブな気分状態のスコア（抑うつ・落ち込み、緊張・不安）および活気・活力スコアが有意に改善することを確認しています。

※ 臨床試験済み機能性表示食品で日本初（TPCマーケティングリサーチ株式会社調べ 2022年4月）

レムウェルの詳細は、下記サイトで紹介しています。
https://www.ono-hc.co.jp/remwell_lpC-03-0003/